

鹿島少年自然の家の平成27年度管理状況

施設所管課	教育委員会生涯学習課
施設管理者	一般財団法人石川県民ふれあい公社 理事長 北村 修
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日
中期経営目標 (H26～H28)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数を3年間で2%増加させます。 ・利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<p>職員の資質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県青少年教育施設協議会資質向上研修会の受講 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体アンケートの実施（35通） ・利用者ニーズの反映（飲物販売等） <p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規の地引き網、ころ柿作り、リンゴ狩りなど19事業実施（参加者数419人） <p>体験活動プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋チャレンジプログラムの実施（参加者数 2回/ 68人） ・子ども自然学校の開催（参加者数 16プログラム 632人）
② 広報活動	<p>施設の情報提供・広報・広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業広報用のリーフレットの作成・配付 ・近隣の小・中学校を訪問し、季節に応じた利用の提案（夏合宿、スキー体験等） ・近隣の公民館や老人団体、婦人団体、青年団等を訪問するなど施設利用のPRを強化

(2) 平成28年度における取組内容の見直し等

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・七尾市、羽咋郡市、中能登町の小中学校を訪問し、夏期合宿等での利用を呼びかけるほか、PTAに対して親子行事や子ども会活動での利用を呼びかける。 ・地域の高齢者など平日に利用が多い団体への施設PRする。 ・国立能登青少年交流の家と連携したプログラムを実施する。 ・指定管理者所管施設である「のとじま水族館」、「ふれあい昆虫館」などと連携したプログラムの開発に努める。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H24年度 (基準値)	H26年度	H27年度	前年度比	H28年度 (目標値)		
(1) 利用者数	13,976人※	12,474人	13,394人	107.4%	14,250人		
(2) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス	98.3%	94.6%	100.0%	5.4ポイント	95.0%		
施設の維持管理	96.0%	85.7%	97.2%	11.5ポイント	95.0%		

※過去5年間における利用者のばらつきが大きいため、実績値をH20～24の平均とした

<利用者数など利用指標に係る対前年度増減理由>

指標	対前年度増減理由
利用者数	小、中学生の利用者の増加による

<利用者アンケート結果（通年実施 有効回答数35件）>

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	28.6%	68.6%	2.8%	0.0%

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常清掃：毎日1～2回 ・ 定期清掃(床ワックス)：年1回 ・ 特別清掃(害虫駆除)：年1回
(2) 設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気設備：年6回 ・ 消防設備：年2回 ・ 給排水衛生設備：年6回 ・ ルーター保守：通年
(3) 植栽維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務として：建物周辺管理
(4) 警備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設全体の警備（常駐、〈宿泊者がある場合〉夜間警備、巡回警備等）及び駐車場管理を毎日実施
(5) 小規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防設備修理 ・ 厨房設備修理 ・ 公用車修理 など

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・緊急連絡網、消防計画、危機管理マニュアル等の見直し・作成 ・避難訓練の実施 年2回（12/19、3/23）
(2) 個人情報の管理状況	・基本協定（個人情報の取扱いに係る特記事項）に基づき、適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
鹿島少年自然の家	271	0	該当なし
合計	271	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
食事料	10,039	0	該当なし
寝具料	816	0	該当なし
暖房料	155	0	該当なし
スキー用具料	28	0	該当なし
合計	11,038	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収入		支出	
指定管理料	34,355	人件費	28,555
利用料収入	11,038	光熱水費	2,961
その他	3,250	修繕費	1,005
		その他	17,220
合計 ①	48,643	合計 ②	49,741
収支差額 ①-②	▲ 1,098		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成27年7月	玄関の階段が見にくい	階段の縁を黄色で着色

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
	該当なし	

8 その他報告事項など

特になし

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設との連携や地域の特色を活かした新規プログラムの開発に積極的に取り組み、利用者増加につながった。 ・学校・公民館・スポーツ団体等対象に応じたチラシを作成し、施設利用PRを積極的に行っている。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全性を考慮し、施設の修繕等に積極的に対応している。（車両修繕、ガラス取替、水源地ポンプ修繕等） ・施設内は清潔に保たれており、適切な管理が行われている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育施設としての機能が発揮できる、適切な職員の配置がなされている。 ・大学との連携のもと、学生ボランティアを積極的に受入れ、きめ細やかな指導ができる体制を整えている。 ・非常時の連絡体制や消防計画などが定められ、安全対策が適切である。 ・個人情報保護や宿直業務など、適切な管理が行われている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書等に基づき、適切な管理運営を行うとともに施設利用PRや新規プログラムの開発にも、積極的に取り組んでいる。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

達成感がより感じられる野外活動プログラムや周辺施設と連携したプログラムなど、質の高いプログラムの開発